

1 学年だより

令和3年10月1日(金)

夢の宅配便

1 年学年主任

水野 喜代治

「神様が見てるよ！」

10月になりました。10月は昔の暦で言うと「神無月」です。神様がいなくなる月という意味です。なんか寂しいですが、神様が消えてなくなるのではなくて、日本中の神様が出雲（島根県）に集合して会議を開くようです。ですから、ちょっと留守になるというわけです。そういうわけで、島根県では、10月は日本中の神様がお集まりになるので、「神在月」と呼ぶそうです。

神様といえば、私が子供の時は、何かに付けて「神様が見てるよ！」と大人の人に言われたものです。学校の帰り道に、枇杷（びわ）の木があって、夏休み前の6月頃に黄色の鶏の卵ぐらいの実をたくさんつけてました。私は、枇杷が大好きなので、鈴なりに実をつけた枇杷を見ると、いても立ってもいられなくなって、枇杷の木にスルスルと登って、食べたものでした。畑の持ち主のおじさんが学校に報告したようで、「小学生が学校帰りに、枇杷を食べてしまうので困ります。木から落ちると危険だから注意してください。」と忠告があったと先生が帰りの会に私の方を見ながら話しかけてきました。

枇杷の木の前を帰り道に通りかかると畑のおじさんが「小学生、枇杷を取ったら駄目だよ。枇杷の木は折れやすいから登ったら危険です。いいですか！」と怖い顔で注意してきました。「はい。大丈夫です。おじさん！僕は枇杷が嫌いで、食べないですから。」と言うと、「そうかい、それならいいんだけどね、小学生が取っていると聞いたので。…神様見てるからね！」と答えた。昔は、何かに付けて、「悪いことは、自分をごまかしても神様は見てるよ！」と言われたものです。人の力を超えた絶対的な力や真理を生活の中で意識することも悪いことではないと思います。「神様は、あなたの頑張りも、努力したことも、悲しいことも、みんな見ていてくれる。悪いことも、ごまかしもね。」今の小学生に「神様が見てるよ」と言ったら「神様なんかいません。見てるのは防犯カメラです。」などといいそうです。神無月となりました。みんなの心の隅に、小さな神様でいいので、見えるといいですね。神様は見ているから！

明日の授業変更と連絡

●10月4日（月）の連絡

B 1 2 3 4 5

2組に教育実習生（田中先生・音楽科）が来ます。

授業変更＝2組 3校時 美術が音楽